



Polaris news

【北高新聞 NO.202401】

「ユネスコ講演会」 生物多様性と社会の多様性 (2024.05.23)

神戸大学大学院の内山愉太先生にお越しいただき、「生物多様性と社会の多様性」についてお話いただきました。生物多様性と私たちの暮らしの関係、なぜ生物多様性が必要なのか、生物多様性の現状などの講演を聴きました。普段あまり意識していなくても、私たちの身の回りの多様性の重要さに気づかされました。講演会の後には、積極的に質問する生徒も多数いました。



■生徒の感想より

- 地球温暖化や環境を守るために木を伐採しなければいけないのではないかと考えていたが、ある程度手を加えることも必要だということを知りました。
- 難しい話であったため、全てを理解することはできなかったが種の多様性や遺伝的多様性などは印象に残りました。
- 生物多様性が豊かだと、生物の種類が多だけだと思っていたけど、文化や食、ダムなどにも影響があると分かって驚きました。
- 生物の多様性と社会の多様性は、別分野で深い関係はないと思っていましたが、生物が多様に進化しなかったら社会の多様性も生まれなかったと思い、環境を皆がより一層大切に守らなければならないと思いました。
- 興味のある場所には実際に足を運んで、その空間を身体化し、保全について考えるべきという話に興味を持った。
- 人と自然とで複雑に絡み合った部分をしっかり考慮して、これからの共存を目指すべきだな、とすごく感じた。そうした多様性を目指すためには「自分一人だけでなく皆で協力する意識をもつこと」という考え方は新たな視点だった。